

福岡市 NPO 活動推進補助金活動報告書

～アートな国際交流グローバル人財育成～
「子どもわくわく交流会 with 留学生！」 vol. 2

- * **実施日時:** ■第 1 回 2013 年 9 月 15 日(日)
■第 2 回 2013 年 11 月 17 日(日)
- * **実施時間:** 受付開始 1:15 PM～
ワークショップ 1:30 PM 開始～4:00 PM 終了
- * **実施場所:** アクロス福岡 研修室
- * **参加者数:** ■第 1 回 **合計:59 名**
(内訳) 児童:37 名、
留学生:9 名(イラン、ベトナム、エジプト、アメリカ 4 名、中国 2 名)、
講師:2 名、
ボランティアスタッフ:11 名
■第 2 回 **合計:42 名**
(内訳) 児童:16 名、
留学生:12 名(マレーシア、ベトナム、インドネシア、台湾、マラウイ、カンボジア、アメリカ 2 名、フィリピン、インド 2 名、ウズベキスタン)、
ボランティアスタッフ:10 名、
講師:2 名、
団体スタッフ 2 名
- 参加人数合計:101 名**
(児童:53 名、留学生:21 名、ボランティアスタッフ:21 名、講師・団体スタッフ:6 名)
- * **協働開催:** Katsuko Ban Art Studio
- * **実施内容:** 小学生を対象に、外国人留学生スタッフやボランティアスタッフも交え、初めての参加者同士が一緒になって協力しながら創造性を働かせ夢の国や動物園を制作する活動を実施しました。アクロス福岡の水道設備がある研修室を使ってアクティビティを実施し、違いを知り受け入れながら協力することの大切さなどを楽しく体感しながら学びました。心理学に基づいて作成されたアクティビティや、アートをつかったアクティビティなど、幅広いアクティビティを実施することで、初参加同士の知らない児童も笑顔で楽しむ姿が見られました。参加後、子どもたちの「協力できた」「楽しかった!」「また参加したい」という声だけでなく、留学生やボランティアスタッフからも「良かった」「また参加したい」という声が聞かれました。

* プレスリリース: この活動は読売新聞社と西日本新聞社の取材を受け、2013年10月5日と2013年9月21日に掲載されました。



活動の様子

<第1回実施風景>



【事前研修】あすみにてボランティアスタッフ、留学生、団体メンバーで実施。楽しく学べるイベントになるようみんなで学びました



まずはアイスブレイキングで初対面同士でも打ちとけます



グループワークでは上手に協力できたら材料がもらえます



材料もそろって、仲よく協力して夢の国を作成中！



完成した作品は、みんなで仲良く分けて笑顔と共に持ち帰りました。

<第2回実施風景>



留学生とボランティアスタッフの事前研修を実施
今回も多くのメンバーが参加しました



始めのアイスブレイキングは全員で参加します
言葉を使わずに誕生日順に並び、各グループに分かれます



チームに分かれた後は、留学生から出される課題にチャレンジして材料をたくさん集めます



材料があつまったらいよいよ夢の動物園づくりに挑戦！どのグループもいろいろなアイデアが出てきます



どのグループも工夫しながら夢の動物園づくりに夢中です。また、上級生が下級生の意見を上手に引き出す姿もみられました



協力することでユニークな夢の動物園が出来上がっていきます



始まった時は知らない同士だった子どもたちも終了するころにはすっかり仲よくなり、どのグループも動物園を完成させました。最後は保護者の前で発表を行い、終了後も笑顔があふれました。



【参加者の声】

参加した子どもたち、留学生、ボランティアスタッフから以下のような嬉しい感想をたくさんいただきました。また、留学生やボランティアスタッフのみなさんが参加するたびに成長し、よりスムーズにサポートしながら活動を楽しむ姿を大変嬉しく思いました。

①参加児童の声

●はたをはるのはむずかかった。またやりたいです ●外国人と仲良くなれた。楽しかったです ●外国人と動物園をつくって今回はとても楽しかったです。ありがとうございました●色んな人がいたので楽しかった！！また行きたいです ●グループで協力しているいろいろなことをしてたのしかったです。べんきょうになりました。一日ありがとうございました ●みんなでつくってたのしかったです。またきたい

②参加留学生の声

It was good, Because most the kids were engaged in the activities. It was fun! (良かった。ほとんどの子どもたちが活動の中で仲良くなれた。とても楽しかった!)

-I love interacting with kids. Thank you so much. (子ども達と活動するのが大好きです。どうもありがとうございました)

-Making the zoo was so fun! Maybe it was a little difficult it for the kids though, to make the animals in a short time. Thank you for inviting me! (動物園を作るのがとても楽しかった。子ども達には動物をつくる時間が少し短かったかもしれない。活動に参加させてもらいありがとうございました!)

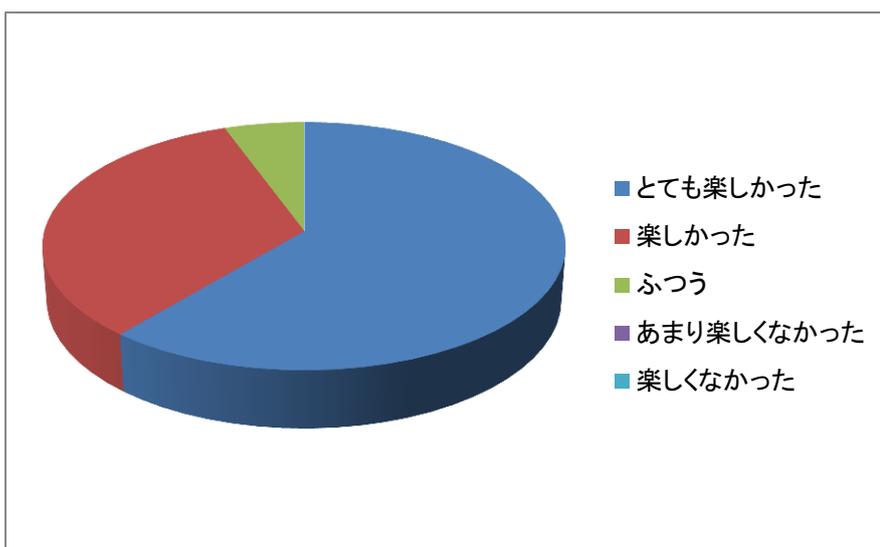
-It was very different from our daily routine and interacting with the kids turned out to be very interesting. Thank you for this event. Looking forward to more of such events. (日々の生活と大変違って、子ども達と関わるのはとても楽しかった。イベントに参加できありがとうございます。もっとこんなイベントを期待しています)

-it was fun. Various activities helped us to ineract with kids. Enjoyed today! Thank you for allowing us to be a part. Nice work shop. (楽しかった。バラエティ豊かな活動で子ども達と仲良くなれた。大変エンjoyしました。私たちを参加させてくれありがとうございました。素敵なワークショップでした)

③ボランティアスタッフの声

●バースデーラインが良かった。言葉が通じなくても外国の人と子どもが交流できる!!今回も楽しかったです ●子ども達がみんなそれぞれの夢の国をつくれて良かった。初めてのボランティア参加でしたが、楽しかったです ●チームで一緒に一つのものを作るのがとても良いと思いました ●

*とても楽しかった:22名(61%) *たのしかったです:12名(33%) *ふつう:2名(5.8%) *あまり楽しくなかった:0名 *楽しくなかった:0名



「とても楽しかった」、「たのしかったです」を合わせると、90%以上の参加者が満足する活動となりました

【市の補助事業に採択されたことによる効果】

・良かった点

- ①講師料への謝金や材料費など資金面での補助により、他団体と協働しながら活動がスムーズに行えた
- ②留学生だけでなく、ボランティアスタッフにも交通費を支払うことができ、参加者も増えた
- ③材料費の子どもたちの負担額も少なくて済み、参加への負担を減らして募集を行うことができた
- ④市の補助事業ということが参加者の信頼につながった。募集活動時に市の名義後援の取得が容易だった。

・今後への課題

- ①市政だよりも掲載してもらおうなど、広報をもっと市と協力して行えるよう準備をしっかりとできると良かった。
- ②最終的な資料提出時に良くわかっていない点がありお手数をお掛けした
- ③jこのような活動を継続的に提供するためにも、中心的に支えてくれるボランティアスタッフの養成が重要である。

今年度は合計2回の実施で総勢101名の方々に関わっていただき活動を実施しました。あすみんファンドからの助成により、たくさんの留学生やボランティアスタッフを集めることができ、また、いろいろな教材が必要なアートを取り入れた活動を実施することができました。子どもたちは「夢の国」や「夢の動物園」を作製しながら創造性を高め、異学年の子ども同士そして違文化の人と出会う素晴らしさ、協力することの楽しさなどを、この活動を通して体感し学ぶことができました。

このように前年度以上に留学生やボランティアスタッフの人たちに参加してもらうことで、このイベントのねらいでもあった、子どもたちのみならず留学生にもボランティアスタッフにも異文化とふれあう地元福岡での草の根の国際交流につながりました。またやりがいを求めボランティアに関わりたいたいと考える方々の受け皿となり、地域社会の絆を強める活動にもなりました。

事故もなくスムーズにイベントを実施することができ、また多くの参加者に喜んでもらえる活動となりました。関係者の皆さまにこころよりお礼申し上げます。